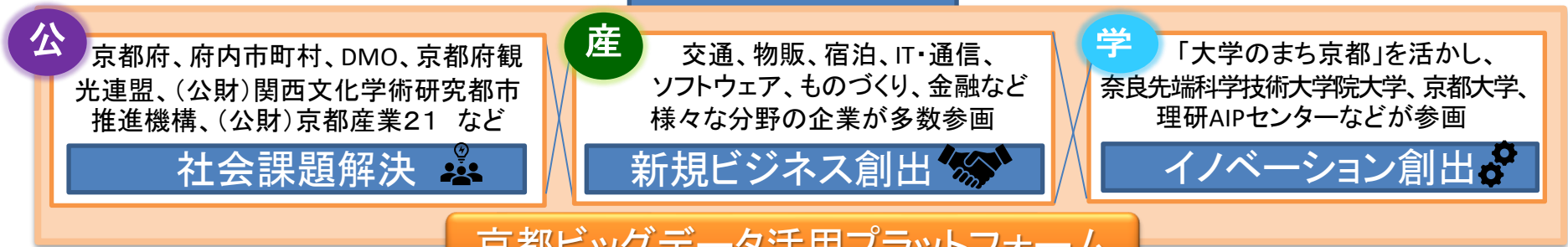
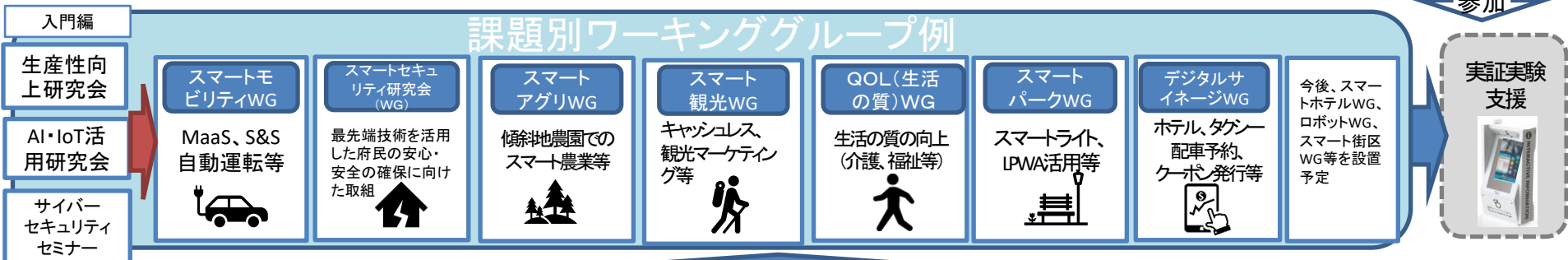


# 京都ビッグデータ活用プラットフォーム -令和4年度活動報告-

# 京都ビッグデータ活用プラットフォームの概要

## 人が主役のスマートで安寧な社会の創出

民 府民・観光客等の参画

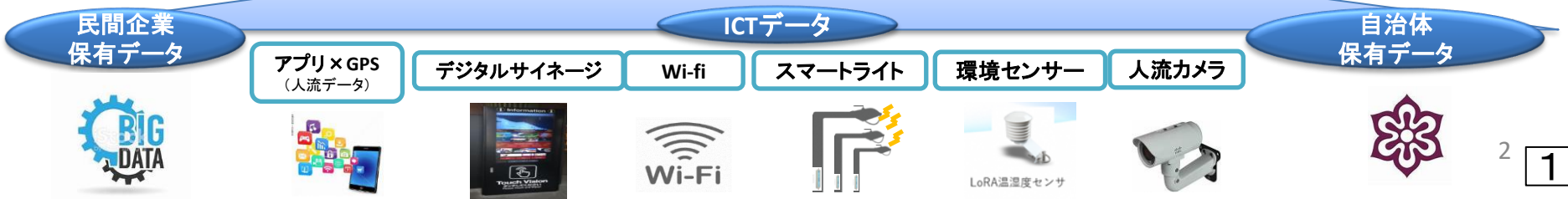


※上記団体は参画予定

オープンAPI・データ統合基盤

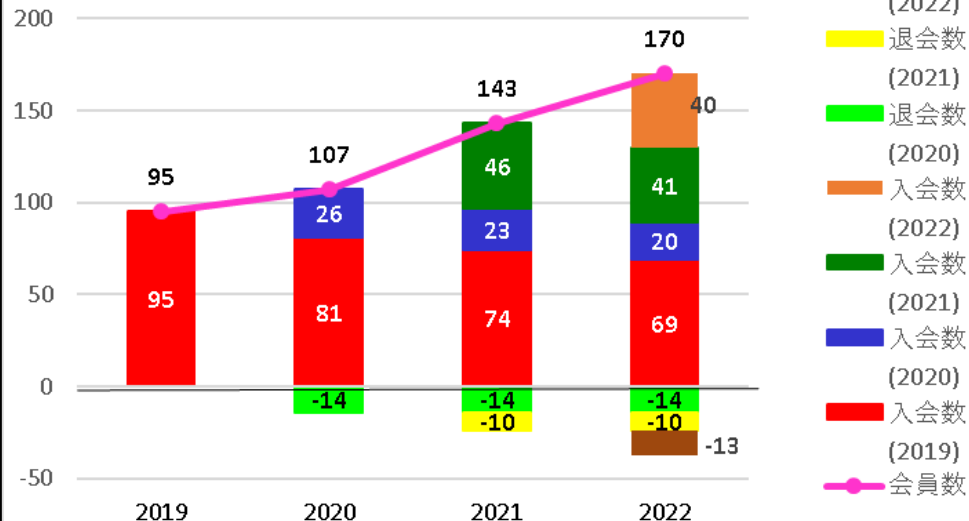
(※(一社)京都スマートシティ推進協議会管理・運用)の活用

多種多様なデータを収集・蓄積、

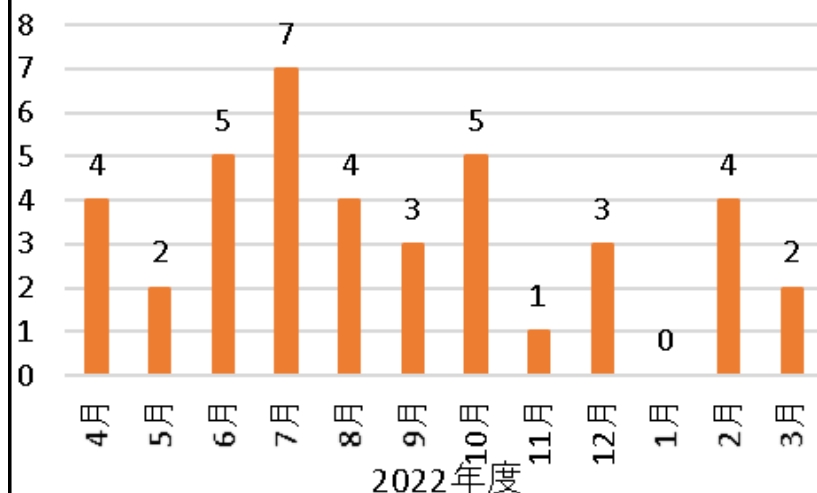


# 会員傾向分析

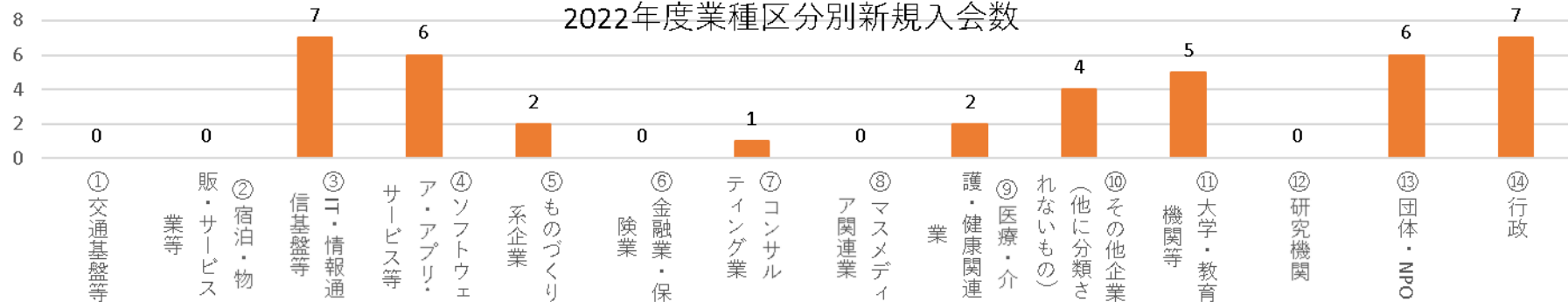
## 会員数の推移



## 2022年度新規入会数推移



## 2022年度業種区分別新規入会数





# 京都ビッグデータ活用プラットフォーム ～令和4年度会員実績～

令和5年3月8日

区分	府内	2022新規	法人名	業種区分	区分	府内	2022新規	法人名	業種区分	
大企業	○		阪急電機株式会社	① 交通基盤等	中小企業	○		エムケイ株式会社	① 交通基盤等	
			日本テレネット株式会社	③ IT・情報通信基盤等		○		株式会社DTS WEST	③ IT・情報通信基盤等	
			西日本電信電話株式会社	③ IT・情報通信基盤等				株式会社デンソー	③ IT・情報通信基盤等	
			日本電気株式会社	③ IT・情報通信基盤等		○		株式会社アドインテ	③ IT・情報通信基盤等	
			エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社	③ IT・情報通信基盤等				株式会社アクリート	③ IT・情報通信基盤等	
			株式会社NTTドコモ	③ IT・情報通信基盤等		24	○	Airitech株式会社	③ IT・情報通信基盤等	
			株式会社スイッチスマイル	③ IT・情報通信基盤等			○	エヴィクサー株式会社	③ IT・情報通信基盤等	
			株式会社セールスフォース・ドットコム	③ IT・情報通信基盤等		社		株式会社ネクイノ	④ ソフトウェア・アプリ・サービス等	
			アリババ株式会社	③ IT・情報通信基盤等		○	○	株式会社ジェー・ビー・シー	④ ソフトウェア・アプリ・サービス等	
			シスコシステムズ合同会社	③ IT・情報通信基盤等			○	株式会社ユニヴァー・ベイキャスト	④ ソフトウェア・アプリ・サービス等	
			ソフトバンク株式会社	③ IT・情報通信基盤等				濱田プレス工務株式会社	⑤ ものづくり系企業	
			株式会社ミライト・ワン	③ IT・情報通信基盤等		○		株式会社ITP(旧:石田大成社)	⑤ ものづくり系企業	
			ユニアデックス株式会社	③ IT・情報通信基盤等		○		ミツフジ株式会社	⑤ ものづくり系企業	
			ジオテクノロジー株式会社(旧:インクリメント・ビー株式会社)	④ ソフトウェア・アプリ・サービス等		○		佐川印刷株式会社	⑤ ものづくり系企業	
		○		株式会社エスユーエス		④ ソフトウェア・アプリ・サービス等	○		株式会社アナテック・ヤナコ	⑤ ものづくり系企業
				旭化成株式会社		④ ソフトウェア・アプリ・サービス等	○	○	OFILM.Japan株式会社	⑤ ものづくり系企業
				ダッソー・システムズ株式会社		④ ソフトウェア・アプリ・サービス等	○		株式会社SCREENクリエイティブコミュニケーションズ	⑧ マスメディア関連業
				ヤマハ株式会社		④ ソフトウェア・アプリ・サービス等	○		株式会社京都新聞社	⑩ マスメディア関連業
		○		株式会社鳥津製作所		⑤ ものづくり系企業	○		株式会社日本サルベージサービス	⑫ その他企業(他に分類されないもの)
		○		三洋化成工業株式会社		⑤ ものづくり系企業	○		株式会社デュイテクニカル	⑫ その他企業(他に分類されないもの)
		○		星和電機株式会社		⑤ ものづくり系企業	○		株式会社鳥津テックリサーチ	⑫ その他企業(他に分類されないもの)
		○		日新電機株式会社		⑤ ものづくり系企業	○	○	鈴田幹農園有限会社	⑫ その他企業(他に分類されないもの)
		○	○	株式会社村田製作所		⑤ ものづくり系企業	○	○	株式会社マッシュ	⑫ その他企業(他に分類されないもの)
		○		京都信用金庫		⑥ 金融業・保険業	○	○	株式会社プレミア・エイド	⑫ その他企業(他に分類されないもの)
				東京海上日動火災保険株式会社		⑥ 金融業・保険業	○		株式会社Local24	③ IT・情報通信基盤等
				PwCコンサルティング合同会社		⑦ コンサルティング業	○		MODE,Inc.	③ IT・情報通信基盤等
				塩野義製薬株式会社		⑨ 医療・介護・健康関連業	○		株式会社ヘルステック研究所	③ IT・情報通信基盤等
				大成建設株式会社		⑩ その他企業(他に分類されないもの)	○		<small>株式会社DCC(旧: The Age社)</small>	④ ソフトウェア・アプリ・サービス等
				株式会社ザイマックス		⑫ その他企業(他に分類されないもの)	○		株式会社BO & Company	④ ソフトウェア・アプリ・サービス等
ベンチャー	○	○	株式会社グリーンゲージ	③ IT・情報通信基盤等	14	○		京なか株式会社	④ ソフトウェア・アプリ・サービス等	
	○		株式会社METRIKA	③ IT・情報通信基盤等		○		Quon Technology株式会社	④ ソフトウェア・アプリ・サービス等	
	○		TQコネクト株式会社	③ IT・情報通信基盤等		○		有限会社アシストワン	④ ソフトウェア・アプリ・サービス等	
	○		株式会社Koeeru	③ IT・情報通信基盤等		○	○	株式会社C.Medical	④ ソフトウェア・アプリ・サービス等	
	○	○	Flora株式会社	③ IT・情報通信基盤等		○	○	株式会社時空テクノロジーズ	④ ソフトウェア・アプリ・サービス等	
	○	○	株式会社dToah	③ IT・情報通信基盤等		○		株式会社COGNANO	⑤ ものづくり系企業	
	○		株式会社AZOO	④ ソフトウェア・アプリ・サービス等		○		きづきアーキテクト株式会社	⑦ コンサルティング業	
	○		株式会社CauchyE	④ ソフトウェア・アプリ・サービス等		○	○	余野ファーム株式会社	⑫ その他企業(他に分類されないもの)	
	○		株式会社フラットフィールドテクノロジーズ	④ ソフトウェア・アプリ・サービス等		○		晶和クリエーション株式会社	⑫ その他企業(他に分類されないもの)	
			株式会社ジザイめっけ	④ ソフトウェア・アプリ・サービス等						
		○	株式会社LAWN	④ ソフトウェア・アプリ・サービス等						
	○	○	株式会社Guardian	④ ソフトウェア・アプリ・サービス等						
		○	株式会社T2N	⑦ コンサルティング業						
	○		株式会社ゲート・オブ・トロポリス	⑨ 医療・介護・健康関連業						
	○	○	株式会社AdvanSentinel	⑨ 医療・介護・健康関連業						
	○	○	HILung株式会社	⑨ 医療・介護・健康関連業						

# 京都ビッグデータ活用プラットフォーム ～令和4年度会員実績～

区分	府内	2022新規	法人名	業種区分	区分	府内	2022新規	法人名	業種区分	
特別 会員	○		学校法人大阪経済大学	① 大学・教育機関等	○		公益財団法人京都高度技術研究所(ASTEM)	⑬ 団体・NPO		
			国立大学法人京都大学 飯山研究室	① 大学・教育機関等			独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)京都貿易情報センター	⑬ 団体・NPO		
			学校法人永守学園 京都先端科学大学	① 大学・教育機関等			一般社団法人京都府情報産業協会	⑬ 団体・NPO		
			京都府公立大学法人 京都府立医科大学	① 大学・教育機関等			一般社団法人中国経済連合会	⑬ 団体・NPO		
			京都府立大学	① 大学・教育機関等			一般社団法人データクレイドル	⑬ 団体・NPO		
			福知山公立大学 メディア情報工学研究室	① 大学・教育機関等			NPO法人都市デザイン研究所	⑬ 団体・NPO		
			福知山公立大学 地域経営学部 佐藤充研究室	① 大学・教育機関等			一般社団法人 One Smile Foundation	⑬ 団体・NPO		
			国立学校法人奈良先端科学技術大学院大学	① 大学・教育機関等			日本生物高分子学会	⑬ 団体・NPO		
			国立大学法人温室大学	① 大学・教育機関等			一般社団法人防災減災技術開発機構	⑬ 団体・NPO		
			学校法人瓜生学園 京都造形芸術大学	① 大学・教育機関等			NPO法人CWW	⑬ 団体・NPO		
			国立大学法人京都大学 大学院 医学研究科 医療経済分野	① 大学・教育機関等			○	京都府ドローン普及・研究プラットフォーム	⑬ 団体・NPO	
			学校法人京都薬科大学	① 大学・教育機関等				災害復興IDDX研究プラットフォーム	⑬ 団体・NPO	
			学校法人京都女子学園	① 大学・教育機関等			○	相楽京都「ひと・企業」啓発促進協議会	⑬ 団体・NPO	
			京都情報大学院大学	① 大学・教育機関等			○	京都姉市市場商店街振興組合	⑬ 団体・NPO	
			学校法人芝浦工業大学	① 大学・教育機関等			○	一般社団法人社会デザイン協会	⑬ 団体・NPO	
			国立学校法人京都大学学術情報メディアセンター	① 大学・教育機関等			○	京都府産業廃棄物3R支援センター	⑬ 団体・NPO	
			京都大学 大学院工学研究科電気工学専攻システム創成論分野	① 大学・教育機関等			○ ○	Maizuru Bamboo Monsters	⑬ 団体・NPO	
			京都デザイン&テクノロジー専門学校設立準備室	① 大学・教育機関等			○	一般社団法人地域連携ネットワークみえ	⑬ 団体・NPO	
			○	○		嘉知大学農林海洋科学部 水環境工学研究室	① 大学・教育機関等	○ ○	京都府飲食業生活衛生同業組合	⑬ 団体・NPO
			○	○		学校法人京都機学園	① 大学・教育機関等	○ ○	京都機械金属中小企業青年連絡会	⑬ 団体・NPO
			○			國學院大學観光まちづくり学部小林裕和研究室	① 大学・教育機関等	○	一般財団法人 沖縄ITイノベーション戦略センター	⑬ 団体・NPO
			○			北海道大学 水質変換工学研究室	① 大学・教育機関等	○	一般社団法人Water'n	⑬ 団体・NPO
			○			国立大学法人電気通信大学	① 大学・教育機関等	○	福知山市	⑭ 自治体
			○			国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)	① 研究機関	○	綾部市	⑭ 自治体
			○			一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会	⑬ 団体・NPO	○	宮津市	⑭ 自治体
			○			公益財団法人京都産業21	⑬ 団体・NPO	○	亀岡市	⑭ 自治体
			○			一般社団法人京都府民総合交流事業団	⑬ 団体・NPO	○	京田辺市	⑭ 自治体
						SoundUD推進コンソーシアム	⑬ 団体・NPO	○	京丹後市	⑭ 自治体
						一般社団法人事故ゼロ・フォーラム	⑬ 団体・NPO	○	精華町	⑭ 自治体
			○			特定非営利活動法人京都・地球みらい機構	⑬ 団体・NPO	○	久御山町	⑭ 自治体
			○			NPO法人きらんネット	⑬ 団体・NPO	○	与謝野町	⑭ 自治体
			○			公益財団法人関西西化学術研究都市推進機構	⑬ 団体・NPO	○	木津川市	⑭ 自治体
			○			社会福祉法人京都聴覚言語障害者福祉協会	⑬ 団体・NPO	○	南山城村	⑭ 自治体
			○			一般社団法人changes	⑬ 団体・NPO	○	和束町	⑭ 自治体
			○			公益社団 法人京都府観光連盟	⑬ 団体・NPO	○	笠置町	⑭ 自治体
	○		京都府茶協同組合	⑬ 団体・NPO	○	城陽市	⑭ 自治体			
			一般社団法人CP協議会	⑬ 団体・NPO	○ ○	伊根町	⑭ 自治体			
			一般社団法人運輸デジタルビジネス協議会	⑬ 団体・NPO	○ ○	宇治市	⑭ 自治体			
	○		一般社団法人京都知恵産業創造の森	⑬ 団体・NPO	○ ○	舞鶴市	⑭ 自治体			
			一般社団法人おもてなしIoT協議会	⑬ 団体・NPO	○ ○	宇治田原町	⑭ 自治体			
	○		一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社(海の京都DMO)	⑬ 団体・NPO	○ ○	南丹市	⑭ 自治体			
	○		一般社団法人森の京都地域振興社(森の京都DMO)	⑬ 団体・NPO	○ ○	長岡京市	⑭ 自治体			
	○		一般社団法人京都山城地域振興社(お茶の京都DMO)	⑬ 団体・NPO	○ ○	京丹波町	⑭ 自治体			
					○	けいはんな記念公園管理事務所(橋本加藤造園㈱)	⑭ その他企業(他に分類されないもの)			

企業: 83

団体: 87

登録企業・団体数 170  
企業・団体割合 51.18%

※2022年度 新規入会 39企業・団体  
(大企業1社、中小企業8社、小規模企業3社、ベンチャー10社、特別18団体)

# 活動支援スキーム (R4年度から見直し)

ワーキング活動の位置づけを見直し、課題共有やネットワーキングを目的とした「コミュニティ」と、事業立ち上げに特化した「実証・事業化WG」を設け、課題マッチング等、事業組成をよりご支援します。

## 01 情報収集

京都ビッグデータ  
活用PF全体会議



専門セミナー

## 02 課題の共有・ ネットワーキング

new  
コミュニティ

会員の皆様により自由に課題感を共有し、共同で解決策を議論するなど、組織を超えて活発なネットワーキングを可能とする場をご提供します。

課題を共有し、  
解決策を議論

興味のあるテーマで  
ネットワーキング

## 03 事業化特化 グループ形成

new  
実証・事業化  
WG

自治体から会員企業への提案募集(事業アイデア・実証実験)や、会員企業から自治体への自由な事業提案など、課題解決に直結するWGの立ち上げをサポートします。

実証等、事業化に  
向けた取組を推進

国・府補助  
事業も活用

<変更点>  
従来の課題別WG活動を  
発展的組み替え

# 01.京都ビッグデータ活用PF全体会議<実績>

産学公の多様なプレーヤーが集う京都ビッグデータ活用プラットフォーム全体会議を年に2回開催し、スマートシティやIoT、ビッグデータに関する最新情報を提供。各WGの取組のアップデートや新たな取組を共有します。

**第10回 (WEB)**  
～令和4年7月28日 (金)～



**第11回 (現地)**  
～令和4年3月27日 (月)～



- 特別講演  
「データ駆動型社会の実現に向けて」  
(一社)データ社会推進協議会 専務理事/事務局長  
エブリセンスジャパン(株) 代表取締役 眞野 浩 氏  
「Society5.0とウェルビーイング」  
京都橋大学工学部情報工学科 教授/副学長 東野 輝夫 氏
- 話題提供  
「京都府デジタル田園都市国家構想の取組紹介  
～けいはんなサステナブルスマートシティ～」  
京都府文化学術研究都市推進課
- 令和4年度の進め方とコミュニティ/実証・事業化WGの紹介

**参加者：115名**

- 特別講演  
「女子大初のデータサイエンス学部4月開設  
～京都女子大学が挑戦する新時代のデータサイエンス～」  
京都女子大学 データサイエンス学部 学部長予定者兼  
データサイエンス研究所 所長 栗原 考次氏
- 特別セッション  
「京都府が描くデジタル田園都市のグランドデザイン  
～データ駆動型社会の実現を目指して～」  
ミツフジ、アドインテ、NTTコミュニケーションズ、ソフトバンク、KPMG
- 令和4年度活動報告及びR5年度活動方針

**参加者：約114名**



# 02.コミュニティ <実績>

**コミュニティ名①** **地域情報・観光情報DXコミュニティ** **メンバー** ジザイめっけ、フラットフィールド テクノロジーズ

**取組概要** コロナ禍で遠出ができず、身近な地域への関心が高まった。目を向けると、長年住んでいても知らなかった魅力を再発見することも多い。裏を返せば、事業者サイドとしては、あの手この手で地域や自店舗の情報発信・イベントやセールなどを実施しているが、近くにいる本場に届けたい人に届けられているのか？さらには、その方々のニーズを本当に把握できているのか？本コミュニティでは、上記問いに対して、情報の流通・ニーズの把握・ニーズに対する施策(オフラインも含めて)の検討→実行を効率的に実現する仕組みに関して、情報交換を行いたい。(→将来的には実証・事業化WGに移行することも見据えて)

**活動ゴール** ディスカッションを重ねることで、自社のアプリの強み・狙い・課題を再認識・ブラッシュアップ。上記及びマーケティングなどを踏まえ、ターゲットとなるユーザー(C)層や事業化に向けてのキャッシュポイントを明確に最終的には、行政を絡めたり補助金を活用したりした次なる施策案があらがた決まっている状態を目指す(あわよくば1歩踏み出している状態)

**主な活動内容**

- ・メンバー企業がそれぞれ取り組む案件及び案件を通じて感じる課題の共有
- ↓
- ・課題を整理する中で、良質な地域情報を発信者から受け手にスムーズに繋げるために必要なプレイヤーをアレンジするような「地域情報コンソーシアム」の設立を検討すること望ましいのではないかと考えに至る。  
※「地域情報コンソーシアム」については、別紙pdf「地域情報・観光情報DXコミュニティ検討」
- ↓
- ・事務局宛に提案及び各種プレイヤーの紹介を依頼

**地域情報・観光情報DXコミュニティ  
検討資料**  
2022.9.13

**コミュニティ名②** **京都府・府内市町村 オープンデータ利活用推進コミュニティ** **メンバー** 京都府、府内市町村、Code for Fukuchiyama

**取組概要**

- ✓ 府・市町村のオープンデータ担当者を中心に、ワークショップの開催、また、「オープンデータ100」に登録されている利活用事例の一つである「5374.jp」(地域のゴミの分別と収集日を自動で表示するアプリ)のリリース(「5374」プロジェクト)に取り組む。
- ✓ ワークショップでは、オープンデータに関する知識の向上を目指した研修、また、「広域で公開に取り組むべきデータ」「2023年度取組内容」の議論を行い、「2023年度取組計画」を作成する。

**活動ゴール**


- ✓ 各オープンデータ担当者がオープンデータに取り組む意義や目的を理解し、「5374」プロジェクトを通して、データ利活用の取組方法を体得すること。
- ✓ ワークショップを通して、各オープンデータ担当者が地域の社会課題に自分事として向き合い、一人ひとりが主体性を持ったコミュニティへと進展すること。

**ワークショップの開催**  
(第1回：8/8、第2回：9/30、第3回：11/28)

- ・オープンデータ伝道師による研修
- ・Code for Fukuchiyamaによる講演
- ・広域で公開に取り組むべきデータに関するディスカッションを実施。

**・5374プロジェクト**  
担当課とのデータ利用に係る調整、データファイルの作成、サービス立上げの一連の作業を、各市町村担当者にて実施。(京都府は適宜サポートを実施)

取組んだ市町村の5374.jpは3/24を目処に府HPにて紹介予定。  
(<https://www.pref.kyoto.jp/digital/opendata/community.html>)





# 02.コミュニティ <実績>

**コミュニティ名③** **VX推進コミュニティ** **メンバー** 京都府、ジェー・ピー・シー、日本電気、METRIKA、T2N、京都デザイン&テクノロジー専門学校

**取組概要** XR(VR/AR/MR/SR\*)やAIの技術、メタバース等の活用について、企業、学校(学生)、行政の交流を通じて、それぞれの活動に対してシナジー効果や新規価値創造を目指す。(参加者で課題、相談事について議論、解決への取組、プラットフォーム内の他WG活動との連携 補助金事業への提案、有識者を招いた基調講演や勉強会)

- 活動ゴール**
- ✓ 官民連携による課題解決事業の立案、実行
  - ✓ コミュニティメンバーの意識向上
  - ✓ 関係人口の増加

**主な活動内容**


メンバー間のコミュニケーションはSlackを活用

<活動①>  
京都府有資産であり、国の重要文化財である京都府庁旧議場の保護、活用を目的とした3Dデータ化(内部、外観の撮影、フォトグラメトリ作成)、メタバース化(Door上に構築)を実施。メタバースした議場については、今後活用を検討中。

<活動②>  
伝統文化×ポップカルチャー 千本桜の世界展 妙心寺壽聖院開催。京福電鉄(嵐電)とのコラボレーション・記念乗車券販売。ポスター、動画による広報。人流データ分析。

<活動③>  
(産学連携)JPC映像スタッフによる、京都デザイン&テクノロジー専門学校生徒向け特別講座の実施

<活動④>  
メタバース・NFT活用の文化事業活用イベントをオンサイト/Webでハイブリッド開催



**コミュニティ名④** **アグリ・フードテックコミュニティ** **メンバー** 京都府立大学、ソフトバンク(株)

- 取組概要**
- 世界人口の爆発的増加や気候変動等を背景にした食料安全保障に対する不安、人生100年時における健康維持増進への希求といった社会課題を踏まえ、食料生産とフードテック分野の研究開発、投資、社会実装を加速化することが求められている。
  - 京都府立大学精華キャンパスのシーズを軸に、食を通じた高いQoL実現のシステム開発、高機能性農産物・食品の開発、食品の長期保存技術開発、食料・飼料としての昆虫の活用などのついて情報を交換し、産学共同研究の組成を目指す。

- 活動ゴール**
- オープンイノベーションの下で、アグリ及びフードテックを中心とする研究開発課題を探索し、次年度以降に競争的研究費等を獲得し、共同研究、社会実証、事業化を推進する。

- 主な活動内容**
- WG進め方等についてのWEB打合せ
  - 京都府立大学の関連研究シーズの整理
  - 連携検討を希望する次の5研究シーズの情報をソフトバンクに提供
    - 高解像動画送受信を活用した栄養指導システムの開発
    - 閉鎖型環境循環アグリシステムによる安定食料供給技術の開発
    - 機能性を強化した作物・食品の開発
    - 異種ゲノムの特性を活かした革新的果樹栽培
    - 宇治茶の安定生産と独自性確保に貢献する技術開発

**精華キャンパスの施設概要**

西エリア(研究棟・附属農場)

- 平成9年4月に建設
- 敷地面積 約9,7ha
- ガラス温室等の付属施設、池、水田、果樹園がちなる。5haの園地



東エリア(産学公連拠点)

<植物系実験研究棟>

- ラボ5室(5名生が利用中)
- 産物工場プロジェクトと連携した産物(健康野菜)栽培実験、産物工場機材の開発等を実施

<動物系実験研究棟>

- 府大養豚ベンチャー(オーストリッチファーマー)
- デジタル技術を用いた商品開発
  - インフルエンザ 新型コロナウイルス対策用マスク
  - フォトビーム電線材
  - 花形顔面マスク&スプレー など



Copyright © Kyoto Prefectural University All rights reserved.

## 02.コミュニティ <実績>

コミュニティ名⑤	資源循環コミュニティ	メンバー	府循環型社会推進課、旭化成、京都産業21、京都知恵産業創造の森、京都府産業廃棄物3R支援センター、シスコシステムズ、島津製作所、星和電機、大成建設、METRIKA
----------	------------	------	---

取組概要	京都府では、脱炭素で持続可能な循環型社会の実現に向けて、企業への支援等を実施していますが、各企業の成功事例等を共有し、取組を広げていくことも必要だと考えています。本コミュニティでは、各企業が実施している資源循環・脱炭素の取組について、関連企業等（ステークホルダー）との関係構築の進め方等を共有し、一層取組を推進することを目的とします。
------	---

活動ゴール	各企業での取組事例を共有し、共通した課題等を抽出し、課題解決に向けたアプローチの方法等を模索する。
-------	---

主な活動内容	<p>○情報交換会の開催          テーマ：サーキュラー・エコノミー時代に求められる情報プラットフォームとは          内容：①サーキュラー・エコノミーへの対応と脱炭素          ②使用済太陽光パネルの大量廃棄への対応について</p> <p>○特別セミナーの開催          テーマ：プラスチックに係る資源循環の取組をはじめとした資源循環経済政策について          内容：①プラスチック資源循環法について          ②成長志向型の資源自律経済について</p>
--------	--

コミュニティ名⑥	オープンイノベーションセンター・亀岡利活用検討コミュニティ	メンバー	亀岡市 京都先端科学大学 ソフトバンク
----------	-------------------------------	------	---------------------------

取組概要	亀岡市では、地域経済を支える産業を育成するため、亀岡商工会議所と京都先端科学大学(J-Innovation HUB 地域オープンイノベーション拠点)と、産学・産産連携による課題解決、実証実験を行う拠点となる「オープンイノベーションセンター・亀岡」を開設し、センター開設までにEVやスマートアグリ等をテーマに課題解決に取り組む。なお、地域の企業のほか、亀岡市、京都先端科学大学のネットワークを活用し、研究機関や大手メーカー等の参加も募り参画いただきながら、センターを持続可能な体制を構築する。
------	---

活動ゴール	【EV】令和4年度中に完成するEVの実装・実習棟及び試験路について、これら施設を最大限利用できるよう、研究開発を開始できる環境を整える。 【アグリ】令和5年度に始まるスマートアグリ施設の建設にあたり、アグリテックを見据えた企業をはじめとして、各社が希望する研究開発をヒアリングしながら、当該施設の運用方針を定める。
-------	--

主な活動内容	<p>◀令和4年度の活動状況▶          今年度から施設整備を開始したオープンイノベーションセンター・亀岡（以下「OICK」という。）の利活用について、事業者とオンラインや展示会等で意見交換を実施。またそのうち、ソフトバンク株式会社様は令和6年度にスマートアグリ施設の建設を始めにあたり、OICKが設置される京都先端科学大学京都亀岡キャンパスに来ていただき、建設予定地を視察。          ・7/27 旭化成様とオンラインミーティング          ・7/29 ソフトバンク様とオンラインミーティング          ・8/22 ソフトバンク様現地視察          ・8/23 星和電機様とオンラインミーティング          ・8/24 三洋化成工業様とオンラインミーティング          ・8/25 ヤマハ様とオンラインミーティング          ・2/16-17京都ビジネス交流フェア2023出展(出展社/来客者に紹介)          ・2/24 オープンイノベーションによる南丹地域中小企業の経営課題支援セミナー(事業概要説明)</p> <p>◀令和4年度の振り返り▶          協議の時点では施設は建設中であり、今年度内の完成予定の中、企業様のニーズをくみ取り実証等のアクションまでには至りませんでした。継続中の案件もあり、当該施設における利用の可能性を見出すことができ、今年度の意見を踏まえて来年度の施設の利用促進につなげてまいりたいと考えています。</p>
--------	---

# 03.実証・事業化WG <実績>

WG名  
①

## スマート 街区WG

メンバー

NTTコミュニケーションズ【オーナー】、京都市サーチパーク、シスコシステムズ(デンソー/アドリンク含む)、ミライト・ワン、MODE Inc、80&Company、芝浦工業大学・新熊研究室、星和電機、旭化成、スィチスマイル、ジオテクノロジーズ

WG組成  
理由

NTTコミュニケーションズにてデータ収集・活用を支援するデータ利活用基盤を開発。京都市サーチパークを仮想街区の実証フィールドとして活用し、様々なデータや接続方式の検証や、企画提案型で募集した参画企業とシナジーを発揮した実証により、新たなユースケースと価値創出を目指す。

解決したい  
課題

コロナ禍を契機に顕在化した、街区(複数建物)における利用者の混雑回避や快適性の向上、データ利活用による収益拡大などの複合課題に対し、企業間連携による解決を目指す。

主な  
活動内容

街区WGとして「①全体会議の開催(10月/3月)」「②プロモーションによる認知向上」「③実証実験(4社の実施)」「④補助金の申請」に取り組み、①～③で当初計画通りに進捗(④は落選)。データ利活用基盤においては、本WGでの実績や知見を活用し、京都府のデジタル田園都市構想(Type3)に正式採用。実証から社会実装までWGの役割を終えたことから、第二期でスマート街区WGは終了に至る。

■実証実験概要

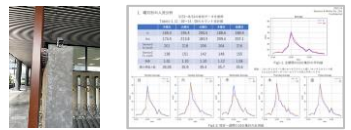
映像解析による混雑可視化・販促  
(ミライト・ワン)



複数データを組み合わせ  
た混雑情報のスマホ配信  
(NTTコム)



赤外線センサーによる人流可視化・分析  
(MODE)



3次元センシングを用いた自立走行ロボ  
ットによるテイクアウトフード運搬  
(芝浦工業大学)



WG名  
②

## パブリックデ ジタルサイ ネージWG

メンバー

シスコシステムズ、デンソー、アドリンク、ジオテクノロジーズ

WG組成  
理由

現在、京都府内12カ所に設置しているパブリックデジタルサイネージの更なるコンテンツの充実化およびサイネージ筐体のブラッシュアップなどが利用者の利便性と地域の活性化につながるものと考えております。つきましては、関心のある企業のアイデアやソリューションを取り入れながら、事業化を検討したい

解決したい  
課題

現在、設置の12カ所のパブリックサイネージは総務省事業の補助金にて賄われておりますが、2024年3月をもって期限が終了。その後の事業化のためには費用捻出をどのように行かかが検討課題であり、今よりも魅力的なパブリックデジタルサイネージを作成することで、市町村に価値を見出ししていきたい

主な  
活動内容

隔週の定例会を開催。シスコシステムズ、デンソー、アドリンク、CTC、NTTCOMのメンバーでサイネージの課題の抽出、アクションについて検討。東海大学観光学部の学生からサイネージの改善プランについてアイデア出し、

総務省事業を継続するにあたっての課題

Key Initiative	課題	検討項目	アクション
① 継続にあたってのインフラコスト	Wipe Visionへの移行費用	業の1社法人様をデンソー様へ移行するサービス形式をWipe Visionへ移行 ※2024年3月31日をもってWipe Visionのライセンスが満了となり、移行の検討が必要 ※EOLを迎えるまでの期間、Wipe Visionのライセンスが満了後に設置する際の費用を削減 ※業の1社法人様をWipe Visionへ移行	・業の1社法人様、2社の検討 ・費用の捻出方法を検討しているが、補助金が足りない
② サイネージのバージョンアップ	コンテンツの刷新	現状のコンテンツの利用状況を確認し、利用者に対する価値を高めるコンテンツを開発	・東海大学観光学部と京都市観光局連携 ・業の1社法人様と連携するワークショップ ・アドバイザーの検討 ・その他、地域のメディア会社検討
	サイネージ筐体のメニューを増やす	現在のモデルに加え、機能性を検討	・デンソーにて受注モデルの検討
③ 運用体制	一社法人が継続	定業を継続していただくための契約形態の検討 EOLを迎えて企業で継続できる検討	・一社法人と連携
	新規にサービスを探す	飲食代理店、Skir、ココロ会社などの相談	・飲食声をかけたが、よい提案はなかった

NEW京都メモリー旅  
～スマホ以上の感動を～

学生とアイデアソンを実施



# 03.実証・事業化WG <実績>

WG名  
③

教育現場での  
Society5.0WG

メンバー

村田製作所、  
社会デザイン協会

WG組成  
理由

教育施設の課題に対してSociety5.0の視点でアプローチできるシステムを開発したので、教育関係機関及び市町村を巻き込み、実証実験がしたい。場所の提供→教育機関/施設・監修→大学の見識者・運用/メンテナ→地元の方々(電気屋・シニア人材)など様々なレイヤとの協働が必要かつ、“感染予防”など早期に実用フェーズに移行すべき課題があるため、早期に活動を始めたい。

解決したい  
課題

SDGsの1つの施策であるSociety5.0ではフィジカル(現実)空間とサイバー(仮想)空間の有機的な結びつきによる豊かな社会の実現が提唱されている。一方現状の教育現場では、以下課題がアナログ管理されていると考え、これらをIoT商材を活用して教育現場でのSociety5.0=京都府モデルとして世の中に発信したい。「感染予防」：定時での換気対策、「学習効率Up」：学校環境衛生マニュアルに基づいた定時管理「食材管理」：向上およびHACCP

主な  
活動内容



教室に掲示したQRコード



WebアプリケーションAIRSual

WG名  
④

鈴田峠  
農園WG

メンバー

鈴田峠農園

WG組成  
理由

「パッションフルーツのシェード型緑化とIoT 緑化冷却システム」のフィールドでの実証実験を行い、実装に向けた検証をしたいため。

解決したい  
課題


脱炭素型社会の推進のためには、快適性や生産性、安全性の維持・向上を図りながら継続的に節電を行う必要がある。窓等を植物で覆うことで夏の直射日光を遮り室内の気温を下げることでできるグリーンカーテン(都市緑化)の取組は、節電、ヒートアイランド緩和、熱中症対策に効果的である。弊社では、「パッションフルーツの移動式緑化(特許取得)」により、広い木陰が出来るシェード型緑化を短期間で形成し、併設する「IoT 緑化冷却システム(国際特許取得)」により、気化熱で冷気の気流を作り、街を涼しく都市のヒートアイランドを緩和できる遠隔操作システムの実証実験を『けいはんな 記念公園(京都府精華町)』で実施したいと考えている。当システムの今後の展開(発展)の方向性及び効果的な連携をWGでは検討したい。

主な  
活動内容





# 03.実証・事業化WG <実績>

<p>WG名 ⑤</p>	<p>京都市 町村地域 WG</p>	<p>メン バー</p>	<p>シンクアンドアクト 舞鶴市・京北町・ 三重県</p>	<p>WG名 ⑥</p>	<p>SCP/スマー ト・ウォーキン グ・セーフティ 京都WG</p>	<p>メン バー</p>	<p>日本生物高分子学会産業情報部会、 防災減災技術開発機構、 村田製作所、 錦市場商店街振興組合、いふじ</p>
<p>WG組成 理由</p>	<p>市町村の現状に直面しつつも、新しい地域の未来づくりに関心があり、具体的なアクションを取る気概のある次代の担い手同志が繋がり、必要なソリューションに繋がるアイデアやネットワークを得る地域基盤を構築する必要があると、3年間の京都スマートシティ推進協議会での事業経験で把握している為。</p>			<p>WG組成 理由</p>	<p>感染症対策用アプリの基本システムに加え、分野毎のフィールドで様々な検証し、サービス実装に向けた高度化を目指す。 A.分野・業態別のフィールドワーク（実証実験） B.各種業態・業務に対応した感染症対策に基づく、パブル方式活用のBCP/SCP検討</p>		
<p>解決したい 課題</p>	<p>市町村の現状を正確に把握することが大前提。その上で、同WGで具体的に取り組むソリューションは、以下の3点。 ①地域の現場に於ける次代の担い手（プレイヤー）の育成 ②地域既存事業者、市町村担当窓口、次代の担い手間の連携支援 ③地域に必要な新しいデータ収集分析やIoTツールを活用して行う、複数のモデル実証づくり</p>			<p>解決したい 課題</p>	<p>昨今のコロナ蔓延を受け、人の集まるイベントや会議などの実施が滞り、大きな経済損失に繋がっている。これらへの対策として、当ワーキンググループはPCR検査結果や抗原検査結果をアプリと連動させ、感染リスクの低減を相互認証できるシステムを開発した。本アプリを使うことで、各種イベントであれば参加者と主催者の、企業活動であれば組織同志の安心・安全環境を担保することによって、人の集まるイベントや会議などの円滑な実施を支援する。 A.分野毎に個別企業・企業団体、業界団体、各組織に働きかけ B.京都リサーチパーク、けいはんなオープンイノベーションセンター、けいはんなプラザ他</p>		
<p>主な 活動内容</p>	<p>地域の次代の担い手（プレイヤー）4者とともに、データ収集分析を含んだモデル実証を履行した。 ①余野ファーム「TANSO MANAGEMENT」 京都里山の生物資源を活用した二酸化炭素吸収・固定のベストプラクティス ②地域連携ネットワークみえ「データに基づく脱炭素共生社会の可能性」 障害者就労支援施設での早生樹苗中間育成/モニタリング作業の可能性 ③府立西舞鶴高校西舞鶴高校「MBMインパクトプログラム〜つづつサイエンスカフェ〜」学校教育を補完する形で市施設を活用した、人文・自然科学の本来の持つ楽しさ・意義を子供たちに伝えるハイブリッド教育コンテンツ開発 ④府立東舞鶴高校東舞鶴高校「空想の村づくり〜SATOYAMAガーデン〜」 地元過疎集落のNPO法人と化学部の共同による地元名水の価値保存向上にむけたデータ収集とその可視化</p>			<p>主な 活動内容</p>	<p>9/1実証実験・飲食編向けCat東京高輪三友居テストプラン技術調査&amp;指導 9/2実証実験・飲食編向け／技術概要説明 to飲食業同業組合 9/3実証実験・イベント編向け／技術概要説明 to日本生物高分子学会2022年会 9/12実証実験・飲食編向け／抗原検査実施説明 toうなぎ廣川 9/15実証実験・飲食編／現地技術指導 forうなぎ廣川 10/6実証実験・イベント編向け／技術調査 atけいはんなスマートシティエキスポ2022 10/20実証実験・組織連携編／技術概要説明 to協和精工 10/25実証実験・イベント編向け／技術調査 atロボットの国際学会「IROS 2022」 11/5実証実験・商店街編向け／技術概要説明 to錦市場・丹後TABLE 11/30実証実験・組織連携編向け／現地技術指導 for機青連（協和精工） 12/7実証実験・組織連携編向け／技術概要説明 to機青連（タナカテック） 12/9実証実験・組織連携編向け／技術概要説明 for検査ネットワーク（MKグループ） 12/12実証実験・イベント編向け／技術概要説明 to立命館大・丹後村おこしチーム 12/21実証実験・組織連携編／現地技術指導 dor機青連（協和精工） 12/28実証実験・商店街編向け／現地技術打合せ for錦市場商店街組合 12/31実証実験・イベント編向け／技術調査 at如恩寺数珠回し&amp;除夜の鐘 1/7実証実験。商店街編向け／事前会場調査&amp;技術確認 1/11実証実験・商店街編／現地技術指導 for錦市場商店街組合</p>		
							
				<p>討論会「商店街の感染対策」</p>	<p>抗原検査テスト</p>		

# 03.実証・事業化WG <実績>

**WG名** ⑦ **ビッグデータ流通加速化WG** **メンバー** ソフトバンク、Airitech、ジオテクノロジーズ

**WG組成理由**

- ✓京都ビッグデータ活用プラットフォーム会員やその他企業等からサンプルデータの提供可能な**データホルダーを開拓し、サンプルデータを収集**する
- ✓収集したサンプルデータから、他のデータとの掛け合わせによる**新たなビジネスモデルの可能性**や**データ活用の展開の可能性**等を精査する
- ✓事業者相互のデータ連携による**価値創出の可能性の検証**及び**データ流通加速化**を目指す。

**解決したい課題**

データ活用型ビジネスモデルのコンセプトイメージを事例化する

**主な活動内容**

- ✓データホルダー開拓として、16社と面談を実施。そのうち7社から活動に合意いただき、サンプルデータの提供。
- ✓WGメンバーでサンプルデータから**事業アイデア**のディスカッションを2回実施
- ✓全24個のアイデアの中で15個のアイデアが地図上にデータを表示する**事業アイデア**が生まれた

<p><b>第1回アイデアディスカッション</b> 日時：2022年12月12日 参加：Airitech、ジオテクノロジーズ、ソフトバンク</p> <p>①データ誘致活動の状況共有 ②誘致企業各社保有データ、対応可能な作業の協議</p>	<p><b>第2回アイデアディスカッション</b> 日時：2022年12月21日 参加：Airitech、ジオテクノロジーズ、ソフトバンク</p> <p>①各社案の発表 ②追加案の協議</p>
--	--

データ提供者	データについての説明
株式会社ヘルステック研究所	健康医療データ
星和電機株式会社	電機データ
Quon Technology株式会社	自転車走行データ
株式会社村田製作所	人流データ CO2濃度データ
日本テレネット株式会社	高齢者の会話統計データ
株式会社C.Medical	定期薬の服用データ
株式会社フラットフィールドテクノロジーズ	まいまいポケットコースデータ・利用者データ

**WG名** ⑧ **京都観光地図2.0WG** **メンバー** 京なかGOZAN、京都大学、大阪成蹊大学、京都情報大学院大学、Airitech、ジオテクノロジーズ

**WG組成理由**

産学連携で開発した、ユーザーのユーザーによるユーザーのための AI 観光マップ「京都観光地図2.0」を京都市内・周辺から府内自治体へ横展開するため。本サービスを通じて、府内の観光のデジタル化を促進させたい。連携する自治体・企業と共同して、AI学習・推薦モデルの構築やサービス実装に必要な予算を獲得することも目指す。

**解決したい課題**

京都府内のいずれの観光エリアにおいても、新型コロナウイルスの影響がまだまだ色濃い状況であるが、最近、地元・近隣住民を呼び込もうとする「じも旅」の動きが着目されている。エリアごとの魅力発信とともに、観光客が少しずつ戻りつつある京都市内から府内の各エリアに誘導する仕掛けが必要である。そこで、AIを活用し、観光客の分散にもつながるおすすめのルート・スポット推薦のサービスを提案する。本WGを通じて、観光スポット写真などモデル改善に必要なコンテンツも収集する。**希望する自治体：宇治市様、宮津市様、京丹後市様、福知山市様など**

**主な活動内容**

当WG活動を通じて、宮津市などからの協力を得ることができ、京都府観光連盟様の京都観光チャレンジ展開事業の採択（予算獲得）にも繋がった。当WG活動および京都観光チャレンジ展開事業を通して、以下を実施した。

- ・宮津市エリアの写真を元にAI学習・推論モデルの構築（観光スポット・ルートの抽出）
- ・京都市内と宮津市内の観光スポット・ルートを提案するAndroidアプリをリリース  
アプリURL：  
[https://play.google.com/store/apps/details?id=kyoto.kyonaka\\_gozan.koiapp](https://play.google.com/store/apps/details?id=kyoto.kyonaka_gozan.koiapp)  
iPhoneアプリは現在、開発中。近日中にリリース予定。

3月17日に京都府中小企業団体中央会主催の「合同記者発表会」の一つとしてプレスリリースを実施予定。



Kol Service (京都観光地図2.0)

# 03.実証・事業化WG <実績>

WG名  
⑨

Disease X  
感染症対策  
WG

メン  
バー

府デジタル政策推進課、AdvanSentinel、塩野義製薬、島津テクノリサーチ、アドインテ、アナテック・ヤナコ、COGNANO、京都大学大学院工学研究科附属流域圏総合環境質研究センター、高知大学農林海洋科学部農林資源環境科学科、北海道大学水質変換工学研究室、京都市上下水道局

WG組成  
理由

R3年度に立ち上げた「Disease X感染症対策WG」について、引き続き活動を行う。  
**R4年度は内閣官房「下水サーベイランスの活用に関する実証事業」に応募**の上、資金を獲得しつつ、下水関係者、人流関係者及び研究者等の交流・議論を深めることで、各自が保有するデータの信頼性向上に向けた相互評価や解析アプローチの高度化、感染予測モデルの構築に取り組む。

解決したい  
課題

現状の感染症対策は、新型コロナウイルスを例にすると感染症の陽性者数、重症者数及び病床利用率等の数値から感染が拡大していることを行政が判断し、様々な措置を講じているが、PCR検査で陽性と判断された人数しか掴めず、市中での無症候者も含めた真の感染規模が把握できないといった課題を抱えている。本WGでは、上記の課題を解決するため、下水サーベイランスを用いて地域全体の感染拡大/収束や変異株発現の兆候を早期に捉え、感染症の流行に影響を与える要因データ（人流、CO2濃度、ワクチン接種率等）を加味し、AI解析することで高精度なSARS-CoV-2感染者数予測モデルの構築を目指す。ひいては、その予測モデルがWithコロナ社会に貢献する一つの施策にとどまらず、Afterコロナでも必要な感染症対策の社会インフラとなること

主な  
活動内容

- ・ 上述の内閣官房「下水サーベイランスの活用に関する実証事業」に採択
- ・ 実証事業の結果、人流、下水、新規陽性者数データとAIを用いた感染予測モデルを構築。11～1月にかけて1ヶ月ごとに新規陽性者数を予測し、良好な結果が得られた。
- ・ 実証事業での取組内容について、個別勉強会を適宜行い、下水サーベイランスや予測モデルへの理解を深めた。
- ・ 4回のWGカンファレンスを行い、有識者による講演や京都府保健環境研究所との意見交換を通じて、メンバーの知見向上に寄与した。
- ・ スマートシティエキスポ2022において公開セミナーを実施し、WG活動内容を一般にアピールした。（現地+オンライン：約200名）
- ・ 3月に感染症対策SCP\_WGと共同開催で実施する公開シンポジウムにて、実証事業の成果を発表し、新規メンバーの獲得を目指す。



## <R4年度スケジュール>

- (1) コミュニティのテーマ募集 (4/27 (水) ~5/20 (金))
- (2) 事務局ヒアリング (提出後~5月下旬)
- (3) コミュニティの参加者募集 (5/31 (火) ~6/14 (火))
- (4) マッチング/組成、活動開始 (6月中旬~)
- (5) 第10回KDBP全体会議 (7/28 (金)) で各取組紹介

6つのコミュニティが組成

## <R4年度スケジュール>

- (1) 実証・事業化WGのテーマ募集 (4/27 (水) ~5/20 (金))
- (2) 事務局ヒアリング (提出後~5月下旬)
- (3) 実証・事業化WGの参加者募集 (5/31 (火) ~6/14 (火))
- (4) マッチング/組成、活動開始 (6月中旬~)
- (5) 第10回KDBP全体会議 (7/28 (金)) で各取組紹介

9つの実証・事業化WGが組成

# 【専門セミナー】サイバーセキュリティセミナー開催実績

PwCコンサルティング社の協力のもと、スマートシティ化を推進する上で必須であるサイバーセキュリティ対策やプライバシー保護の重要性について理解を高める。

京都スマートシティエキスポ連携企画：サイバーセキュリティイベント  
令和4年10月6日（木）、7日（金）

第6回（WEB）  
～令和4年9月16日（金）～



<出展>「車両向けサイバー-エクスペリエンスシステム」



各リスクを考慮した対策の具体例

マルチステークホルダー環境下でスマートシティのサイバーセキュリティを確保するためにはシステムのライフサイクルの全工程において、委託先及び提携先を含めたリスクの検討及び対策が必要となります。

工程	企画	設計	実装	テスト	納入	運用/開発
企画	セキュリティ要件・セキュリティ設計の不足 <ul style="list-style-type: none"> <li>セキュリティ要件の抽出に、工程、関係したセキュリティ社との連携が不十分</li> <li>セキュリティ要件の抽出に、関係したセキュリティ社との連携が不十分</li> <li>セキュリティ要件の抽出に、関係したセキュリティ社との連携が不十分</li> </ul>	脆弱性が発生するシステムの開発 <ul style="list-style-type: none"> <li>脆弱性が発生するシステムの開発</li> <li>脆弱性が発生するシステムの開発</li> <li>脆弱性が発生するシステムの開発</li> </ul>	インシデント発生 <ul style="list-style-type: none"> <li>インシデント発生</li> <li>インシデント発生</li> <li>インシデント発生</li> </ul>			
設計	セキュリティのバイパス <ul style="list-style-type: none"> <li>セキュリティのバイパス</li> <li>セキュリティのバイパス</li> <li>セキュリティのバイパス</li> </ul>	セキュリティシステムの構築/検査 <ul style="list-style-type: none"> <li>セキュリティシステムの構築/検査</li> <li>セキュリティシステムの構築/検査</li> <li>セキュリティシステムの構築/検査</li> </ul>	インシデント対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>インシデント対応</li> <li>インシデント対応</li> <li>インシデント対応</li> </ul>			
実装	セキュリティの脆弱性 <ul style="list-style-type: none"> <li>セキュリティの脆弱性</li> <li>セキュリティの脆弱性</li> <li>セキュリティの脆弱性</li> </ul>	脆弱性が発生するシステムの開発 <ul style="list-style-type: none"> <li>脆弱性が発生するシステムの開発</li> <li>脆弱性が発生するシステムの開発</li> <li>脆弱性が発生するシステムの開発</li> </ul>	インシデント発生 <ul style="list-style-type: none"> <li>インシデント発生</li> <li>インシデント発生</li> <li>インシデント発生</li> </ul>			

「スマートシティにおけるセキュリティとその対策」  
PwCコンサルティング黒田氏、宇田川氏ほか  
**参加者：35名**

<セミナー>  
「デジタル化に伴い必要とされるセキュリティやプライバシーの観点とは」

サイバーセキュリティセミナーに加えて、体験型の車両シュミレーターを出展し、体験しながら攻撃の手法を学習することによりサイバーセキュリティへの理解・知識を深めることを目的とする。

**エキスポ参加者数（2日間）：約1万名**



# 【その他】 京都スマートシティエキスポ2022でのパネル出展

令和4年10月6日（木）、7日（金）で実施された「京都スマートシティエキスポ2022」で京都ビッグデータ活用プラットフォームで活動中のコミュニティ及び実証・事業化WGのパネルを出展し、活動をPR。

**京都ビッグデータ活用プラットフォーム**  
～入会の御案内～

**会員募集中**

スマートシティの実現を目指す。企業、自治体、大学・研究機関等をつなぐ、産官学のオープンイノベーションプラットフォームを構築し、**人が主役のスマートで安寧な社会の創出**を目指します。

プラットフォームを通じて、会員様のニーズやシーズのマッチングによる新規事業創発、地域の課題解決や京都における実証実験等を支援します。

情報収集	課題の共通・ネットワークキंग	事業化特化グループ形成
<b>京都ビッグデータ活用PF全体会議</b> 活用PFの現状及び今後の展開を共有し、共有で課題を議論するなど、組織を超えて協働イノベーションを創出する機会を創出します。	<b>コミュニティ</b> 課題を共有し、協働を促進し、協働イノベーションを創出する機会を創出します。	<b>実証・事業化WG</b> 産官学の垣根を超え、実証実験や、実証から社会実装への自由な事業展開など、事業化に向けた課題の共有やサポートします。

**会員間のアライアンスや実証実験を積極的に支援**

**こんな事業が多数生まれています！**

事例1：増化産が販売したコロナ対策のCCOセンサーによるモニタリングシステムを活用した実証実験を構築し、京都府・京都市で活用中。

事例2：京都リサーチパーク様と実証フィールドを築いたが、スマート街区化を促す各々の提案事業（サイネージやスマート道路灯等）の実証実験を実施中。

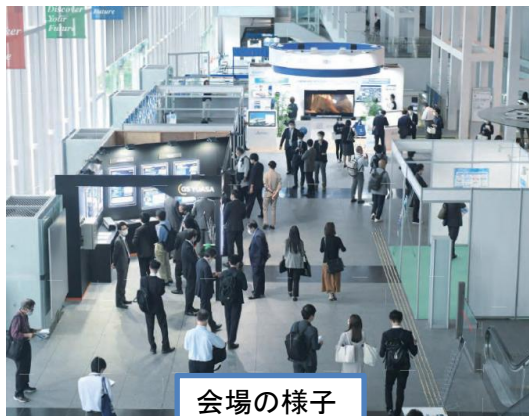
**KYOTO SMART CITY EXPO 2022**

京都スマートシティエキスポ

安寧で持続的な未来を創る地域と産業 ～「超快適」スマート社会の創出～



パネルを展示し、活動をPR



エキスポ参加者数（2日間）：約1万名

# 【その他】 各種補助金での活動支援

京都スマートシティ推進協議会が実施する、各種補助金で会員等の活動を支援。

## スマートシティ推進スタートアップ支援補助金

人口減少や技術革新による産業構造の変化等に伴う、社会福祉・子育て支援・教育対策、地域経済の活性化、防災対策等の社会課題の解決に資することを目的に、AIやIoT等のスマート技術を活用した新しいサービスや技術の開発を行うスタートアップ企業等を支援するために募集し、以下企業を採択。

2022年5月27日

NO	採択者	事業名
1	WINDシミュレーション株式会社	モバイル型ウイルス殺菌装置のプロトタイプ開発および事業化
2	Caitlin Puzzar	こどものいじめ・虐待早期検知システム (Guardian) 実装試験
3	株式会社dTosh	遠隔教育における多種多様な質問に自動回答するAIチャットボットの研究開発
4	HiLung株式会社	ヒトiPS細胞を用いた、呼吸器の公害・毒性・薬効評価用細胞 (肺細胞モデル等) の作製

(50音順 敬称略)

## データ活用型地域課題解決補助金

データ活用型地域課題解決補助金は、けいはんな学研都市を中心に、京都ビッグデータ活用プラットフォームのデータ流通の仕組みを整備し、データやデジタル技術を活用した個人に応じた健康サービスや健康アプリ等の導入を支援するために募集し、以下企業を採択。

2022年8月31日

NO	採択者	事業名
1	株式会社C.Medical	ICT技術を用いた薬の飲み忘れ改善に向けた取り組み
2	日本テレネット株式会社	タブレット端末の会話機能による健康行動支援型マネジメントサービス
3	Flora株式会社	女性健康課題のビッグデータの活用に対する商品開発の実証実験及びアプリコンテンツ提供方法の改正
4	株式会社ヘルステック研究所	診療に利用する医療者向けPHRデータ閲覧サービスの開発と運用

(50音順 敬称略)

※辞退企業有

# R4年度まとめ

1. 会員が大幅に増加(40企業・団体)。特に中小企業や自治体が増加。事業4年目となり、事業の認知度が向上。
2. 今年度から「コミュニティ」及び「実証・事業化WG」に支援スキーム再構築したことにより、会員のニーズに柔軟に対応可能に。「コミュニティ」は、観光、フードテックやVX等をテーマに6つのグループが、「実証・事業化WG」は、感染症対策、ビッグデータ活用や地域課題等をテーマに9つのグループが組成。
3. デジタル田園都市国家構想推進交付金をはじめとする、様々な補助事業の情報提供を行い、各活動を支援。